

令和9年度

第3年次編入学 学生募集要項

出願期間 ※郵送のみ	令和8年6月15日(月)～6月17日(水) (必着)
受験票発送	令和8年6月24日(水)
学力検査等	令和8年7月4日(土)
合格発表	令和8年8月3日(月)
入学手続	令和8年8月27日(木)・28日(金)

新潟大学工学部

不測の事態等が発生した場合の諸連絡

不測の事態等により、本募集要項の内容に変更が生じた場合には、以下のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意願います。

新潟大学工学部ホームページ
<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/>



新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、新潟大学ホームページ「受験生特設サイト」→「入試情報」→「被災した学生への特別措置」→「新潟大学志願者への入学検定料免除について」をご覧ください。

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>



本学の入学者選抜における感染症対策について

下記ホームページにて最新情報を随時更新しています。出願前や受験前に適宜ご確認ください。

新潟大学ホームページ
https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/ee_covid_19/



出願等に関する問合せ先

この募集要項の内容や、出願等について不明な点があるときは、下記に問い合わせてください。

【問い合わせ先】

新潟大学工学部学務係 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地

メール gakumu@eng.niigata-u.ac.jp

電話 (025) 262-6709 FAX (025) 262-7010

対応時間 平日(土・日・祝日, 夏季一斉休業日, 年末年始を除く)の8:30~17:15(12:00~13:00を除く)

目 次	
1. 工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）等	1
2. 募集人員，出願資格，選抜方法及び試験期日等	2
(1) 募集人員	2
(2) 出願資格	2
(3) 出願資格の確認について	3
(4) 選抜方法	4
(5) 試験期日及び時間割	4
3. 出願手続等	5
(1) 出願期間等	5
(2) 出願書類提出先	5
(3) 出願書類等	5
(4) 出願に関する注意事項	7
(5) 「受験票」及び「受験案内」について	8
4. 受験上の注意事項	8
(1) 試験当日及び試験時間中の留意事項	8
(2) 不正行為	9
5. 障がい等を有する入学志願者の事前相談	10
(1) 相談の期限	10
(2) 相談の方法	10
(3) 連絡先・申請書提出先	10
6. 合格者の発表等	11
7. 入学手続等	11
8. 欠員の補充について	12
9. 修学条件等	12
10. 入試情報の開示	12
11. 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い	12
12. 学生寮について	13
令和8年度 工学部第3年次編入学試験実施状況	14

・本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

・入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも一部改変することもあります。 ・「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧については、以下の URL をご覧ください。

「入試過去問題活用宣言」ホームページ：<https://www.nyushikakomon.jp>

1 工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）等



【教育理念・目標】

新潟大学工学部では、次のような素養を身につけた優秀な技術者・研究者を育成することを目標としています。

- ・ものづくりをたいせつにする心
- ・豊かな創造力と柔軟な思考力
- ・自主性と高い倫理観に支えられた実践力

その実現のために、本学工学部では、工学の基礎をしっかりと学んだうえで、先端技術の開発に対応できる応用力を身につけることが可能な仕組みを準備しています。

また、実践教育やキャリア教育を体験できる教育プログラムを設けているので、体験を通して自分の可能性を伸ばす業種を探することができます。

【教育内容・特色】

工学部附属の「工学力教育センター」と共同で、質が高く特色ある教育を展開しています。

- 自主的なものづくりプロジェクトを通じてものづくりの魅力や楽しさに触れ、「つくる力」と「学ぶ力」（この二つを合わせて「工学力」と呼んでいます）を習得するための教育を行っています。
- 「知識の応用力」を効果的に身につけさせることを目的に、失敗を経験しながら新たな工学技術や研究開発へと導く教育を一年次から実施しています。
- 企業等と連携した実践的工学キャリア教育を行っています。
- 学生のチームが研究や技術開発に関する活動を行い、相互に啓発できる場「スマート・ドミトリー」プログラムを実施し、国際的に活躍できる秀でた学生「トップ・グラジュエイツ」を育成する教育を行っています。一年次から参加でき、高い研究能力が身につきます。
- 従来の専門教育に加え、実践英語コース及び国際教養プログラムの提供や段階的海外留学の機会を設け、大学教育のグローバル化を推進しています。
- 国際的に認定された教育プログラム（JABEE 認定プログラム）や学部段階からの国際交流により、国際的に通用する高いレベルの学力が得られます。
- 高等学校や高等専門学校等でのさまざまな履修形態に配慮しつつ、大学院と教育・研究に関して強い連携を図り、毎年、多数の卒業生が大学院に進学しています。また、学位プログラムごとの就職指導によって不況にも強い就職実績を上げています。

【求める学生像及び入学者選抜方法】

教育理念・目標にあげた三つの素養を身につけた技術者・研究者を目指す学生の入学を歓迎します。工学分野に関する学部教養レベルの基礎学力を有し、高い理解力・応用力を持つ学生を選抜します。学位プログラム毎に募集します。

基礎学力試験においては、各学位プログラムの工学分野に関する基礎学力および工学を学ぶうえで必要となる理解力・応用力を評価します。さらに英語によるコミュニケーション能力を評価します。

2 募集人員，出願資格，選抜方法及び試験期日等

(1) 募集人員

学科	学位プログラム	募集人員
工学科	機械システム工学プログラム	3人
	社会基盤工学プログラム	2人
	電子情報通信プログラム	4人
	知能情報システムプログラム	4人
	化学システム工学プログラム (応用化学コース・化学工学コース)	2人
	材料科学プログラム	1人
	建築学プログラム	2人
	人間支援感性科学プログラム	2人
	協創経営プログラム	
合 計		20人

学位プログラムごとに募集します。募集人員は、概ねの人数です。

(2) 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- ① 学士の学位を有する者及び令和9年3月31日までに取得見込みの者
- ② 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条に定める従前の規定による学校の課程を修了し，又はこれらの学校を卒業した者
- ③ 短期大学を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- ④ 高等専門学校を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- ⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上かつ，総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であること）を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者（ただし，学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑥ 専修学校の特定専門課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者（ただし，学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑦ 高等学校，中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者（ただし，学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑧ 修業年限4年以上の大学において，2年次修了以上の学力があると認められた者〔大学に2年以上在学（休学期間を除く。）し，62単位以上の単位を修得した者及び令和9年3月31日までに同要件を満たす見込みの者〕（出願時に本学に在学している者は除く。）

⑨ 外国において、学校教育における 14 年以上の課程を修了し、大学の 2 年次修了以上の学力があると認められた者

(注 1) 出願資格①の学士の学位を有する者及び取得見込みの者には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び修了見込みの者を含みます。

(注 2) 出願資格③の短期大学を卒業した者及び卒業見込みの者には、外国の短期大学を卒業した者及び卒業見込みの者並びに外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び修了見込みの者（学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。）を含みます。

(注 3) 出願資格⑧の大学には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含みます。

(注 4) 出願資格⑨によって出願する者は、出願資格の確認をする必要がありますので、下記「(3) 出願資格の確認について」の指示に従って、「新潟大学工学部第 3 年次編入学（出願資格確認書）ほか必要書類を、令和 8 年 6 月 8 日（月）までに

出願書類等提出先に郵送又は持参してください。

(3) 出願資格の確認について

新潟大学工学部第 3 年次編入学の志願者で、(2) 出願資格の⑨に該当する者は、出願前に出願資格を確認する必要がありますので、次の書類等を提出してください。

○出願資格の確認に必要な書類

・「新潟大学工学部第 3 年次編入学出願資格確認書」

新潟大学工学部ホームページ掲載の所定の様式を印刷のうえ、必要事項を記入してください。

・最終学校の学業成績証明書

必ず日本語訳を添付してください。

・最終学校の卒業（修了）証明書又は最終学校の卒業（修了）見込み証明書

必ず日本語訳を添付してください。

・返信用封筒

定形封筒（標準長形 3 号(120mm×235mm)）に出願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手 1 1 0 円分（速達は 4 1 0 円分）を貼ってください。

○提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地

新潟大学工学部学務係

電話 (025) 262-6709

○提出期限 令和 8 年 6 月 8 日（月）

(4) 選抜方法

- ① 入学者の選抜は、学力試験（専門基礎科目）及び TOEIC L&R あるいは TOEFL の成績証明書により行います。入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。なお、出身校の成績証明書（又は調査書）は参考資料として活用します。
各プログラムの専門基礎科目の詳細については、②のとおりです。

② 学力試験科目（専門基礎科目）

学位プログラム	学力試験科目（専門基礎科目）
機械システム工学プログラム	「数学，物理」の2科目
社会基盤工学プログラム	「数学，物理」の2科目
電子情報通信プログラム	「数学，電気回路」の2科目
知能情報システムプログラム	「数学，プログラミング」の2科目
化学システム工学プログラム ・応用化学コース ・化学工学コース	「化学」1科目
材料科学プログラム	「化学」1科目もしくは「数学，物理」の2科目
建築学プログラム	「数学，物理」の2科目
人間支援感性科学プログラム	「数学」（必須）および「物理，電気回路，プログラミング」から1科目の合計2科目
協創経営プログラム	

(注1) 化学システム工学プログラム志願者は、出願時に「応用化学コース」か「化学工学コース」を選択してください。

(注2) 物理の範囲は質点の力学，質点系および剛体の力学，数学の範囲は微分積分，線形代数です。

(注3) 化学の範囲は化学システム工学プログラム（応用化学コース）では有機化学，無機化学，物理化学，化学システム工学プログラム（化学工学コース）では無機化学，物理化学，化学工学，材料科学プログラムでは有機化学，無機化学，物理化学です。

(注4) プログラミングでの使用言語はC言語のみです。

③ 配点

学力試験 （専門基礎科目）	TOEIC L&R あるいは TOEFL の成績証明書	合計
200	50	250

※ 学力試験（専門基礎科目）の過去問題は新潟大学工学部ホームページの「入試情報」→「第3年次編入学」で公開しています。
URL : <https://www.eng.niigata-u.ac.jp/guide/admission/>



(5) 試験期日及び時間割

学位プログラム	試験期日・時間	試験科目	試験場
すべての学位プログラム	令和8年 7月4日（土） 9：30～11：30（120分）	学力試験 （専門基礎科目）	新潟大学工学部 新潟市西区 五十嵐2の町 8050番地

3 出願手続等

(1) 出願期間等

令和8年6月15日（月）から6月17日（水）まで（必着）とします。
出願書類の提出は、書留速達による郵送に限ります。

(2) 出願書類提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
新潟大学工学部学務係
電話（025）262-6709

(3) 出願書類等

志願者は、次の出願書類等を取りそろえ、新潟大学工学部ホームページ (<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/>) から、「出願書類提出用封筒宛名」をカラー印刷のうえ、必要事項を記入し、市販の角型2号封筒(240mm×332mm)に貼ったものを使用し、(2)の出願書類提出先に郵送（書留速達）により提出してください。

また、出願書類の所定の様式については、新潟大学工学部ホームページ (<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/>) に掲載されているので、各自印刷して使用してください。

新潟大学工学部ホームページ <https://www.eng.niigata-u.ac.jp/>



	出 願 書 類 等	摘 要
1	編 入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票	<ul style="list-style-type: none">・ホームページ掲載の所定の様式を印刷のうえ、必要事項を記入してください。・「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）を所定欄に確実に貼ってください。・受験票及び写真票の所定欄に写真を確実に貼ってください。（縦4cm×横3cm，上半身・無帽・正面向きで，出願前3か月以内に撮影したもの。受験時に眼鏡を使用する者は，眼鏡をかけて撮影してください。）

2	<p>検 定 料 30,000 円</p> <p>※現在、国費外国人留学生として採用されている、または延長申請中である場合は不要です。</p>	<p>ホームページ掲載の所定の様式を印刷のうえ、必要事項を記入し、以下の3点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</p> <p>なお、振込手数料は志願者本人の負担となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 2. 検定料の振り込みは、令和8年6月8日（月）から6月17日（水）〔15時00分〕までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日の振り込みはできません。） 3. ATM（現金自動預払機）での振り込みはできません。
3	<p>検定料納付証明書 （新潟大学提出用）</p>	<p>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄に貼ってください。</p> <p>（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
4	<p>卒業・修了（見込） 証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出身学校長（学長・学部長）が作成し、厳封したもの。 ・出願資格⑧に該当する者は、当該大学の学長（学部長・学校長）が作成した在学証明書又は在学期間証明書を提出してください。
5	<p>成績証明書 （又は調査書）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出身学校長（学長・学部長）が作成し、厳封したもの。 ・出願資格⑧に該当する者は、修得済みの科目についての成績証明書並びに履修中の科目がある場合は、履修科目の一覧（修得予定の科目名及び単位数が記載されたもの。）を提出してください。
6	<p>TOEIC L&R あるいは TOEFL の成績証明書の 原本</p> <p>※テスト実施日が 出願書類提出期限から3年以内 （令和5年6月17日 から令和8年6月17日 までの）のものに限ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC L&R（TOEIC-IP（団体特別受験制度）を含む。）の場合は、Official Score Certificate（公式認定証）又は Score Report を提出してください。 ※TOEIC-IP（団体特別受験制度）のオンライン方式で発行される「Test Result」は対象外です。 ・TOEFL の場合は、ETS 発行の Test Taker Score Report を提出してください。 ※TOEFL iBT（Home Edition 含む）、改訂版 TOEFL ペーパー版テスト（The revised TOEFL Paper-delivered Test）のいずれでも構いません。または、TOEFL ITP の Score Report を提出してください。 ・デジタル公式認定証の場合、PDF 版を印刷したものでも構いません。 ・出願時にスコアを提出できない場合は、理由書（様式任意）を出願時に提出のうえ、試験当日までに出願書類提出先に提出してください。期限までに提出されない場合は、失格とな

		ります。 ・成績証明書の再発行が必要な場合は、各試験実施事務局等へお問い合わせください。
7	返信用封筒 1枚 「編入学受験票等在中」	ホームページ掲載の「返信用封筒表紙（「編入学受験票等在中）」をカラー印刷のうえ、郵便番号、住所及び氏名を記入し、市販の長形3号封筒（120mm×235mm）の表面に貼ったものに、郵便切手410円分を貼って提出してください。
8	あて名票	ホームページ掲載の「あて名票」に志願者の郵便番号・住所・氏名を記入のうえ提出してください。
9	【該当者のみ提出】 在留カードの写し 又はパスポートの写し	外国籍を有する者は、在留カードの写し（表裏両面）又はパスポートの写し（顔写真ページおよび在留資格が記載されているページ）を提出してください。
10	【該当者のみ提出】 国費外国人留学生 証明書 ※新潟大学以外に 在籍している国費 外国人留学生のみ	所属する大学等が発行する国費外国人留学生証明書を提出してください。
11	【該当者のみ提出】 出願資格を 証明する書類	・出願資格⑤に該当する者は、修了又は修了見込みの専修学校の専門課程が、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上かつ、総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であること）を満たすことを、出身学校長が証明する書類を厳封のうえ提出してください。 ・出願資格⑦に該当する者は、修了又は修了見込みの高等学校等の専攻科の課程が、修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすことを、出身学校長が証明する書類を厳封のうえ提出してください。

※出願書類は返却しません。

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類等に記載の氏名は、戸籍（外国籍を有する者は住民票又はパスポート）に記載の文字を使用してください。
- ② 出願書類等に、記載事項の記入漏れや、その他不備のある場合は、出願書類を受理しないことがあります。
- ③ 出願書類等提出後は、出願書類等の返却及び「現住所（連絡先）」以外の記載事項の変更を認めません。

- ④ 検定料振込み後、出願期間内に書類等を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000円）を返還します。詳細は、本学ホームページの「受験生特設サイト」→「入試情報」→「納付済検定料返還手続き」を参照してください。



URL : <https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/>

なお、返還対象となった日から5年以内に返還の申し出がない場合は、返還請求を辞退したものとさせていただきます。

- ⑤ 外国語により作成された書類には、日本語による訳文を添付してください。

(5) 「受験票」及び「受験案内」について

「受験票」及び「受験案内」の発送日は、令和8年6月24日（水）です。

なお、「受験票」は、入学手続きの際にも必要となりますので、紛失、汚損等のないよう特に注意してください。

4 受験上の注意事項

(1) 試験当日及び試験時間中の留意事項

- ① 試験当日は、「新潟大学工学部第3年次編入学試験受験票」を必ず携帯してください。
- ② 筆記用具等は、黒鉛筆（黒シャープペンシルを含みます）・鉛筆キャップ・鉛筆削り（電動式を除きます）・消しゴムとします。これ以外は使用できません。
- ③ 時計の使用は、計時機能だけのものに限りません。辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいものは使用できません。アラームは使用できません。
- ④ その他、受験に際しての詳細については、受験票送付の際に同封する「受験案内」で指示します。

(2) 不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- (a) 志願票，受験票，写真票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票，写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど。）をすること。
- (b) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (d) 試験時間中に，問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- (e) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (f) 「解答はじめ。」の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (g) 試験時間中に，携帯電話やスマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等），タブレット端末，電子辞書，ICレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。（イヤホンについては耳に装着されていれば，使用しているものとします。試験時間中，病気・負傷や障がい等により補聴器を使用したい場合は事前にご相談ください。）
- (h) 試験時間中に，持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規，コンパス，電卓等）を使用すること。
- (i) 「解答やめ。」の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 前記①以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，前記①と同様です。

- (a) 試験時間中に，持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規，コンパス，電卓等）及びスマートフォンや携帯電話，ウェアラブル端末等の電子機器類等をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていること。
- (b) 試験時間中にスマートフォンや携帯電話，時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど，試験の進行に多大な影響を与えること。
- (c) 試験に関することについて，自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (f) その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

5 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学部と相談してください。必要な場合は、本学部において志願者及び関係者と面談を行います。

(1) 相談の期限

令和8年6月8日（月）までとします。

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早い時期に相談してください。また、相談の期限後に、配慮が必要となった場合は、至急(3)の連絡先に問い合わせてください。

(2) 相談の方法

新潟大学工学部ホームページに掲載されている申請書に必要事項を記入し、医師の診断書等必要書類を添付した上で提出してください。

(3) 連絡先・申請書提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
新潟大学工学部学務係
電話 (025) 262-6709

6 合格者の発表等

令和8年8月3日(月)午前10時に、合格者の受験番号を合格発表 web サイト (<https://www.gouhi.com/niigata-u/>) に掲載するとともに、合格者へ速達郵便により「合格通知書」を送付します。



- (注1) 合格発表 web サイトへの掲載は、情報提供の一環として行うものですので、必ず合格通知書で確認してください。
- (注2) 合格発表当日の合格発表 web サイトへのアクセスについては、回線が大変混み合い、つながりにくくなる場合があります。つながりにくい場合は、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。
- (注3) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。
- (注4) JR 新潟駅周辺又は新潟大学最寄りの駅等で、合否電子郵便等の勧誘を行っていることがありますが、新潟大学では、そのようなことは行っていません。不当な料金を請求される等のトラブルも発生していますので、十分に注意してください。

7 入学手続等

- (1) 入学手続の概要は、次のとおりです。その詳細については、合格者に別途通知します。
 - ① 入学手続期間及び手続方法
令和8年8月27日(木)から8月28日(金)まで(予定)(郵送)
 - ② 入学料
282,000円(予定額)
 - ③ 提出書類等
 - ・新潟大学工学部編入学受験票
 - ・誓約書、学生調書(本学所定用紙)
 - ・写真(縦4cm, 横3cm)
 - ・講義概要(授業要項)※出身校の卒業証明書、学業成績証明書等は、入学手続後に提出していただきます。
- (2) 出願資格で所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、令和9年3月31日までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。
- (3) 授業料
年額 535,800円(前期分 267,900円, 後期分 267,900円)[予定額]
 - (注1) 授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただく予定です。
 - (注2) 授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。
 - (注3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。入学料及び授業料については、免除及び徴収猶予の制度があります。詳細は、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)又は合格者に送付する「入学手続案内」を参照してください。

8 欠員の補充について

入学手続期間終了後、募集人員に欠員が生じた場合の補充は、追加合格により行います。追加合格該当者への通知は、9月上旬から入学志願票に記入してある連絡先に電話等により行います。

追加合格の通知を受けた者は、指定された日時までに入学手続を行ってください。入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

必要がある場合には、欠員補充第2次募集を行います。

9 修学条件等

(1) 入学時期及び修学条件

入学の時期は令和9年4月とします。

入学後2年以上4年以内に新潟大学工学部規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者には、学士（工学）の学位を授与します。

(2) 既修得単位の取扱い

本学部に入學する前に在學した大學等において修得した単位については、本学部の定める基準に従って卒業要件単位として認定します。

なお、卒業要件単位の認定結果によっては、2年間で卒業することが困難な場合があります。

(3) 在学期間の通算

本学部の修業年限（4年）のうちの2年間に既に在学したものとして通算し、入学後における修業年限は2年、在学することができる年限は4年とします。

10 入試情報の開示

本学部では、令和9年度第3年次編入学試験に関して、受験者本人からの郵便による請求のみに対して入試情報の開示を行います。請求の方法については、新潟大学工学部ホームページ (<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/guide/admission/>) をご覧ください。



なお、請求にあたっては、「新潟大学工学部編入学受験票」が必要になりますので、紛失、汚損等のないよう、大切に保管しておいてください。

11 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。

(3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所につ

いては、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

12 学生寮について

本学の学生寮入寮者の募集案内については、令和8年12月に、新潟大学ホームページ (<https://www.niigata-u.ac.jp/>) に掲載する予定です。

なお、学生寮の概要については、大学ホームページの「受験生の方」→「アパート・学生寮」に掲載されています。

令和 8 年度 工学部第 3 年次編入学試験実施状況

募集人員	学位プログラム	志願者数	合格者数
合計 20 人	機械システム工学プログラム	18	9
	社会基盤工学プログラム	1	—
	電子情報通信プログラム	16	8
	知能情報システムプログラム	17	6
	化学システム工学プログラム (応用化学コース)	5	3
	化学システム工学プログラム (化学工学コース)	1	—
	材料科学プログラム	4	1
	建築学プログラム	2	2
	人間支援感性科学プログラム	6	3
	協創経営プログラム	1	1
合 計		71	33